

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

よもやま話

今年も梅雨に入った。先日小雨の中、観察の森に行った。横浜霊園前のバス停近くの観察の森入口から階段を上ると私の好きな世界が広がる。雨で一層際立った木々の緑がこの時期は特別気持ちを落ち着かせてくれて癒される。これだけで森に来た甲斐がある。どうしてだろうと考えてみると、それは少年時代の環境がしみ込んで今があるのではと思う。

私は逗子で生まれ 30 年暮らしたが、その頃私の家の近くには里山があり、農家も多かった。山、田んぼ、畑、小川など、まだ自然環境が豊富に残されていて田んぼには蛙、ザリガニ、ドジョウ、水中に棲む昆虫など、また小川にはメダカ、フナ、ウナギなど今では考えられないほど生き物が人と共存していたのだ。(残念ながら今はすべて破壊され住宅で埋め尽くされてしまった) そんな中で学校が終わると山に入って野山で日が暮れるまで遊んだものだ。

森の中ではいろいろな植物、野鳥、昆虫、小動物などと出会い、人間もこの自然の仲間だと教えられたものだ。同時代を生きてきた ZFC の皆さんも子供のころ私と同じような体験をされたと思う。こんな体験、郷愁にかられて後年、自然を求めて山歩きをするようになった。山歩きが趣味の 1 つになったのも自然にふれること、緑の木々の中を歩く気持ちの良さに魅力を感じ取りつかれたからだ。そしてますます森が、木々の緑が私が生きる上で欠かせないもの(少々大げさか?)になっていったのだ。

今日縁あって観察の森で汗を流せるのもその延長線上にあると思っている。こんな素晴らしいところで同好の士とともに充実した時を過ごせることに本当に感謝したい。そしてこのように人の心をいやしてくれる大切な自然環境を壊さずに維持していくために微力ではあるが、ZFC 活動を続けることが大切であると思う。

私のように癒しを求める人にこの森でボランティア活動をする楽しさを知ってもらいたいが体験希望者が少ないのはさびしい限りである。

山田靖彦

1. 2012年6月の活動報告

- ① 6月6日(水)栄高校より2名来園、7月28日草刈りの打ち合わせ
- ② 6月9日(土)8人 道具の手入れ、活動打ち合わせ
- ③ 6月16日(土)7人 道具の手入れ、活動打ち合わせ

2. 運営会<6月123日>報告

- ① 7月度計画:3項参照

3. 7月度活動予定

- ① 6月23日(土) 関東学院へ材引き取り等
トウネズ抜倒(チェーンソー可)クヌギ林草処理
午後 運営会
- ② 6月30日(土) 自主活動日
- ③ 7月7日(土) シイタケ台組・本伏せ
トウネズ抜倒(チェーンソー可)
竹馬用の真竹採取
- ④ 7月14日(土) トウネズ伐倒(手ノコ使用)
竹林整備
下草刈り(クヌギ林)
- ⑤ 7月21日(土) 日清オイリオボランティア体験指導
(アキアカネの丘・草刈及びニセアカシア小木5本伐倒)
下草刈り(池の上クヌギ林)
午後運営会
- ⑥ 7月28日(土) 午前:栄高校草刈体験準備(クヌギ林)
楓伐倒
午後:栄高校草刈体験指導

4. 編集後記

以上